

工 事 番 号							
設計年度	令和7年度	橋梁補修工事(市道八坂町3号線1号橋梁) 三原市 八坂町					
施工月日	令和 年 月 日						
施工方法	請 負						
工事期間							
工 事 概 要				起 工 理 由			
施工内容 橋梁補修 L=5.1m あて板補修工 49kg 橋梁塗装工 A=46m2							

仕 様 書

特記仕様書

第1章 総則

第1節 適用

- 1 本特記仕様書は、三原市八坂町 橋梁補修工事(市道八坂町3号線1号橋梁)に適用する。
- 2 本特記仕様書に記載のない事項については、次によるものとする。
 - ・ **土木工事共通仕様書（令和6年8月）広島版（適用区分「広島」及び「広島県」）**

※ 土木工事共通仕様書は「広島県の調達情報」に掲載している。

<https://chotatsu.pref.hiroshima.lg.jp/>

- ・ その他関連規格類

第2節 情報共有システム

本工事は、情報共有システムの対象であり、実施については土木工事共通仕様書1-1-1-25 施工管理「10. 工事情報共有化」に従うこと。

- 1 本工事は受発注者間の情報を電子的に交換・共有することにより、業務の効率化を図る情報共有システムの対象である。なお、運用にあたっては「広島県工事中情報共有システム運用ガイドライン」（以下「ガイドライン」という。）に基づき実施すること。
- 2 本工事で使用する情報共有システムは次とする。
 - 広島県工事中情報共有システム
 - <https://chotatsu.pref.hiroshima.lg.jp/asp/index.html>
- 3 監督員及び受注者が使用する情報共有サービスのサービス提供者（以下「サービス提供者」という。）との契約は、受注者が行い、利用料を支払うものとする。
- 4 情報共有システムを利用した書類は、決済データ等を整理して中間検査時・工事完成時にCD-R又はDVD-R（中間検査時1部、完成時2部）にて提出すること。
 - ただし、電磁的記録しない方が合理的な書類は、監督員と協議の上、紙媒体での提出とすることができる。
- 5 情報共有システムを利用した書類の検査は電磁的記録にて検査する。
 - 検査時に必要となる機器は、原則、受注者が準備することとし、検査に必要な電磁的記録は受注者が当該機器に事前に登録するものとする。
- 6 受注者は、監督員及びサービス提供者から技術上の問題点の把握、利用にあたっての評価を行うためアンケート等を求められた場合、協力しなければならない。

第3節 週休2日適用工事等

本工事は、週休2日適用工事等対象外工事とする。

第4節 熱中症対策に資する現場管理費の補正

- 1 本工事は、熱中症対策に資する現場管理費の補正をする工事とする。
- 2 受注者は、補正を希望する場合、監督員と協議すること。
- 3 工事の実施にあたっては「熱中症対策に資する現場管理費の補正の運用について」に基づき、行うこと。

第5節 法令及び条例等の遵守

- 1 次の内容について、施工計画書の「その他」項目に記載すること。
 - (1) 工事の実施にあたり、発注者から明示された、又は、受注者が行うべき「法令及び条例等に基づく各種手続き及び許可承諾条件」
 - (2) 上記(1)の内容について「不測の事態等が生じた場合の対応方法」
 - (3) 上記(1)、(2)の内容について「現場作業に従事する者に対する周知の方法」
- 2 「施工方法」等の関連する項目に、許可承諾条件等を適切に反映すること。
- 3 「法令及び条例等に基づく各種手続き及び許可承諾条件」等の変更が生じた場合は、施工計画書の内容に重要な変更が生じたものとし、変更施工計画書を提出すること。

第2章 施工条件

第1節 塗替塗装工

- 1 既設塗料に含まれる物質
本橋の鋼材部に使用されている塗料には、鉛が含まれていることが、事前調査で判明している。適切な塗膜除去方法及び塗膜くずの処理を行うこと。
- 2 塗膜除去
塗膜成分試験結果より、鉛が検出されているため、既設塗膜の除去は湿潤化による工法（塗膜剥離剤処理）を行うこと。塗膜剥離においては、保護具等を着用し、十分な換気を行い、作業員の安全を確保すること。また、塗膜くずが、周辺地域に流出しないよう飛散防止措置を行うこと。
- 3 塗膜くず処分
塗膜剥離剤で除去した、有害物質を含む塗膜くずは PCB 無害化処理認定施設で処分すること。

第3章 工事保険等

- 1 工事保険等
受注者は、本工事において第三者に与えた損害を補填する保険又はその他必要とする建設工事に関連する保険等に加入しなければならない。また、加入した保険等については、保険証券の写し（保険以外の場合はそれに代わるもの）を監督員に提出すること。なお、加入に必要な保険料等は、設計で現場管理費に見込んでいる。
- 2 法定外の労災保険 の付保
 - (1) 受注者は、本工事に従事する者の業務上の負傷等に対する補償に必要な金額を担保するための保険契約（以下「法定外の労災保険」という。）を付保しなければならない。
 - (2) 受注者は、建設工事請負契約約款第54条（火災保険等）に基づき、法定外の労災保険の契約締結したときは、その証券又なこれに代わるものを速やかに監督職員に提示しなければならない。
 - (3) 法定外の労災保険は、政府の労働災害補償保険とは別に上乘せ給付等を行うことを目的とするものであり、（公財）建設業福祉共済団、（一社）建設業労災互助会、全日本火災共済協同組合連合会、（一社）全国労働保険事務組合連合会又は保険会社との間で、労働者災害補償保険法に基づいて契約を締結しているものとする。

第4章 その他

本特記仕様書及び設計図書に明示していない事項又は、その内容に疑義が生じた場合は、監督職員の指示を受けること。

数量総括表

— 橋梁補修工事(市道八坂町3号線1号橋梁) —

工事数量総括表

費目・工種明細など	規格1・規格2	単位	数量	備考
本工事費				
橋梁保全工事		式	1	レベル1
橋梁補修工		式	1	レベル2
あて板補修工		式	1	レベル3
金属特殊パテ		式	1	レベル4
あて板補修		kg	49	レベル4
足場	【安全ネット無】	式	1	レベル4
現場塗装工		式	1	レベル2
橋梁塗膜除去工		式	1	レベル3
塗膜除去		m2	46	レベル4
橋梁塗装工		式	1	レベル3
素地調整	【2種ケレン】	m2	46	レベル4
下塗り塗装(1回目)	【無溶剤型さび安定化塗料, 塗装回数: 1】	m2	46	レベル4
下塗り塗装(2回目)	【無溶剤型さび安定化塗料, 塗装回数: 1】	m2	46	レベル4
上塗り塗装(1回目)	【無機系塗料, 塗装回数: 1】	m2	46	レベル4
上塗り塗装(2回目)	【無機系塗料, 塗装回数: 1】	m2	46	レベル4
** 直接工事費 **				
準備費				

工事数量総括表

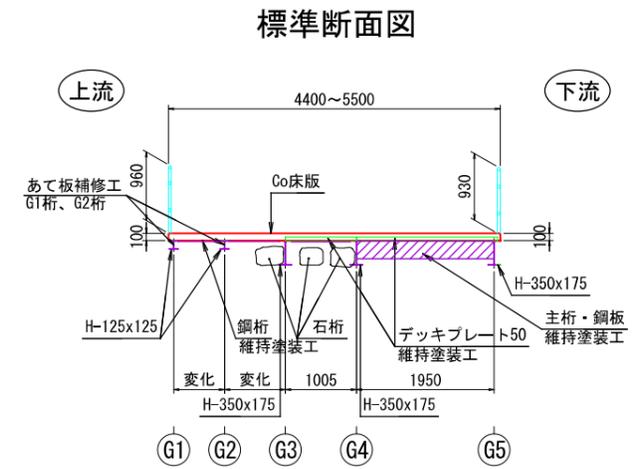
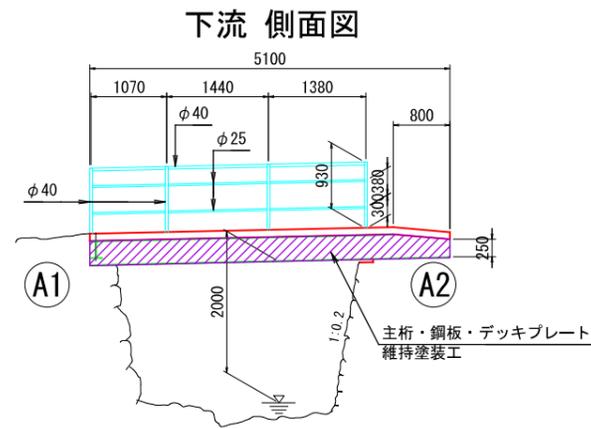
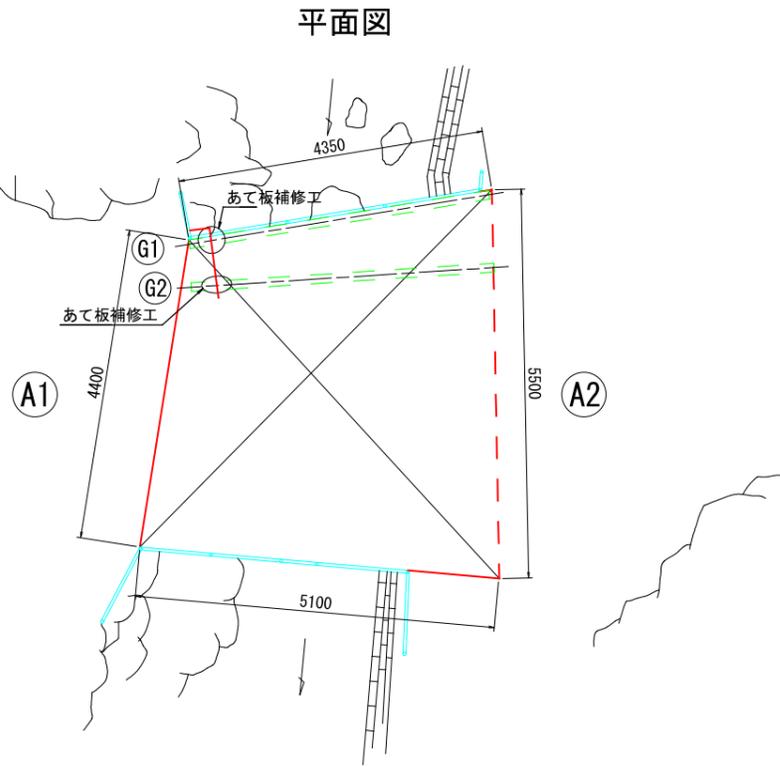
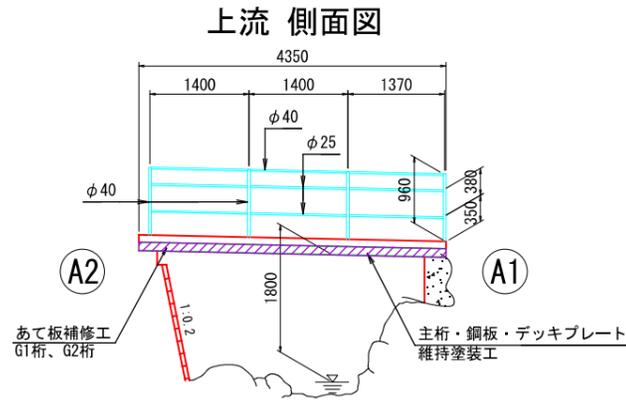
費目・工種明細など	規格1・規格2	単位	数量	備考
準備費		式	1	レベル2
準備費		式	1	レベル3
近接調査計測工		式	1	レベル4
技術管理費				
技術管理費		式	1	レベル2
技術管理費		式	1	レベル3
安全費				
安全費		式	1	レベル2
安全費		式	1	レベル3
共通仮設費率分				
** 共通仮設費計 **				
** 純工事費 **				
現場管理費				
** 工事原価 **				
一般管理費率分				
契約保証費				
一般管理費計				
** 工事価格 **				

工事数量総括表

費目・工種明細など	規格1・規格2	単位		数量	備考
** 消費税相当額 **					
** 工事費計 **					
** 契約保証費計 **					

八坂町3号線1号桥梁 補修一般図 S=1:50

図面番号	1/4	縮尺	図示
工程	桥梁補修工事(市道八坂町3号線1号桥梁)		
種別	補修一般図	番号	1/1
路線名	市道八坂町3号線		
工事箇所	三原市八坂町		
三原市			



桥梁諸元	
桥梁名	八坂町3号線1号桥梁(ヤサカチヨウ3ゴウセン1ゴウキョウリョウ)
所在地	三原市八坂町
路線名	八坂町3号線
架橋年度	1970年
活荷重・等級	不明
上部工形式	単純H型鋼橋
下部工形式	石積橋台、重力式橋台
基礎工形式	直接基礎
路下条件	河川
橋長	4.35~5.10m
全幅員	4.40~5.50m
点検履歴	2022年
補修履歴	旧橋(石桁)を残し、左右にH型鋼橋で拡幅

補修工一覧表

部位	工種	
主桁・鋼板 デッキプレート	維持塗装工(全面)	さび安定化防錆塗装(塗膜剥離剤+2種ケレン)
主桁(G1, G2桁)	あて板補修工	

注) 本図面は、既往図面を基にテープやコンベックスを用いて現地調査を行い、作成したものである。

八坂町3号線1号橋梁 補修図 (その1) S=1:30

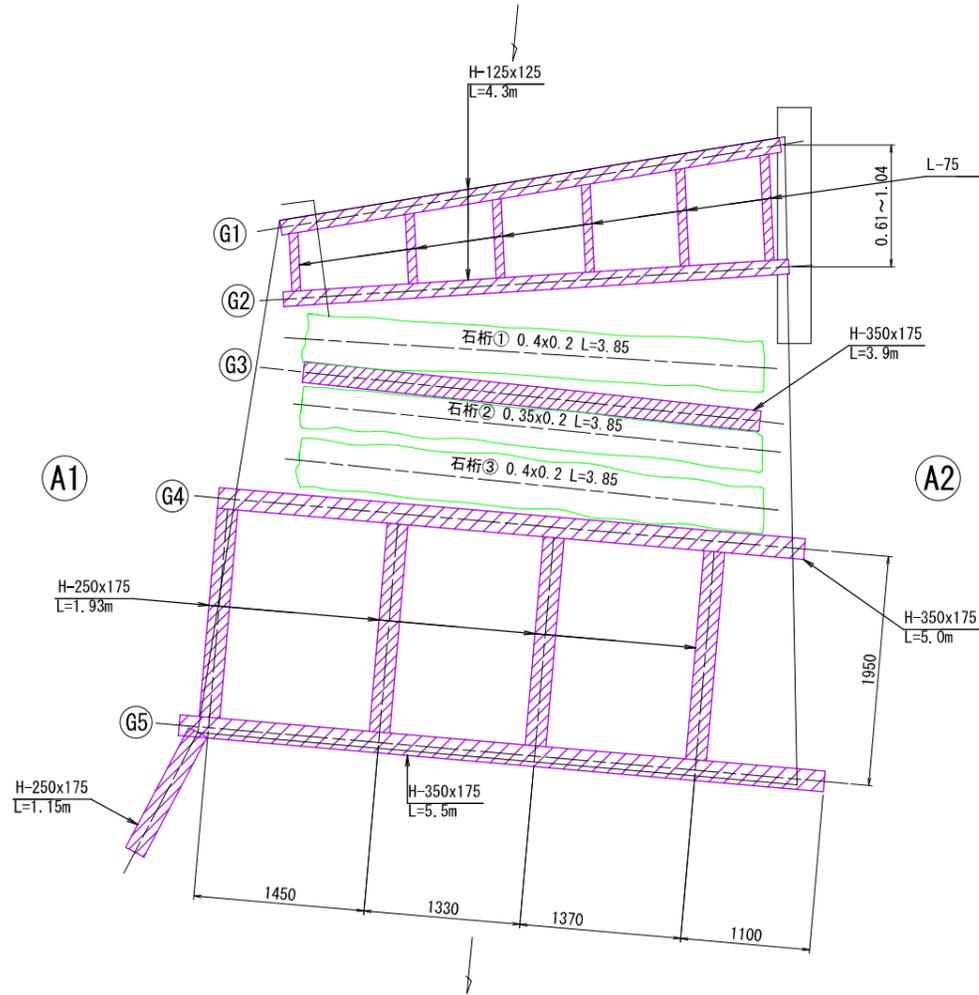
(維持塗装工)

(主桁・鋼板・デッキプレート)

 さび安定化防錆塗装 (塗膜剥離剤+2種ケレン)

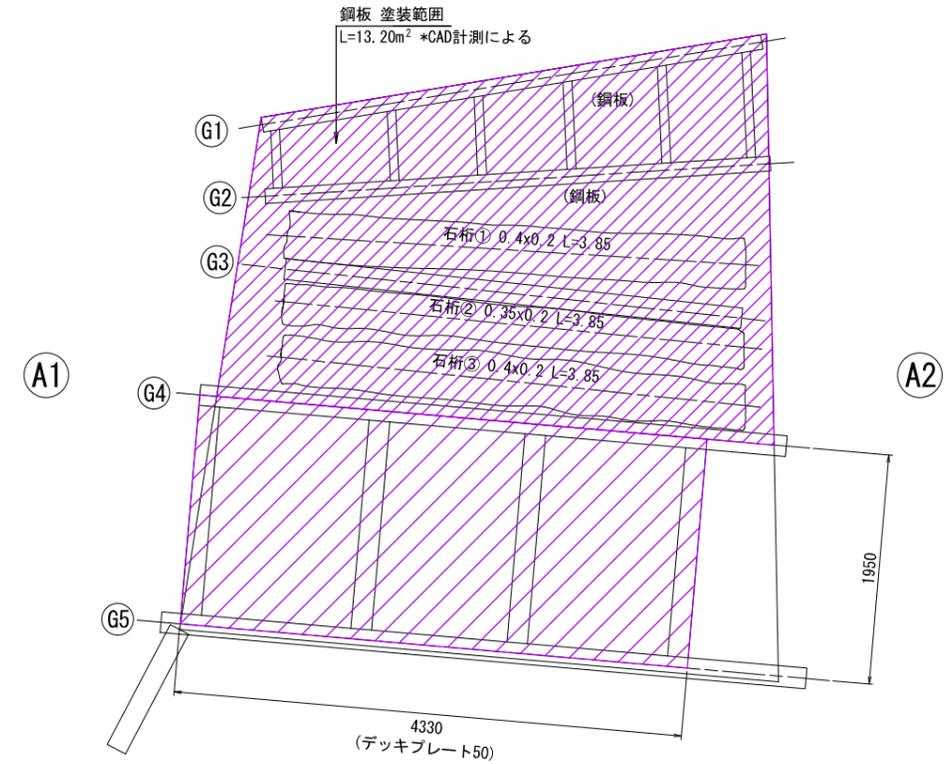
図面番号	2/4	縮尺	図示
工程	橋梁補修工事 (市道八坂町3号線1号橋梁)		
種別	補修図(その1)	番号	1/3
路線名	市道八坂町3号線		
工事箇所	三原市八坂町		
三原市			

桁 平面図

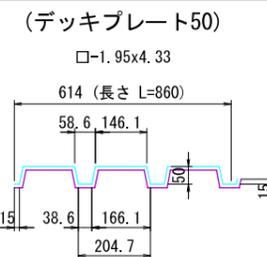


- 主桁
 G1, G2 2-H 125x125 L=4.30m
 G3 1-H 350x175 L=3.90m
 G4 1-H 350x175 L=5.00m
 G5 1-H 350x175 L=5.50m
- 横桁
 1-L 75 L=0.59m
 1-L 75 L=0.66m
 1-L 75 L=0.74m
 1-L 75 L=0.87m
 1-L 75 L=0.91m
 1-L 75 L=1.02m
 4-H 250x175 L=1.93m
- A1橋台 下流側
 1-H 250x175 L=1.15m

鋼板 平面図



デッキプレート 形状 S=1:10



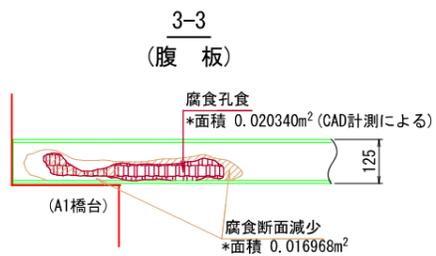
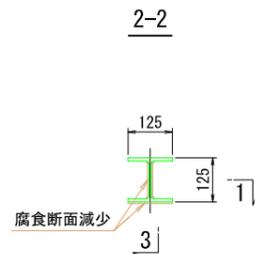
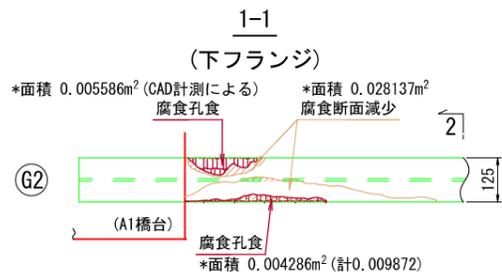
八坂町3号線1号橋梁 補修図 (その3) S=1:10

(あて板補修工)

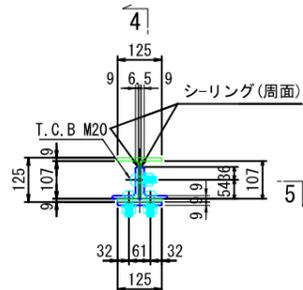
(G2桁 A1橋台付近)

図面番号	4/4	縮尺	図示
工程	橋梁補修工事 (市道八坂町3号線1号橋梁)		
種別	補修図(その3)	番号	3/3
路線名	市道八坂町3号線		
工事箇所	三原市八坂町		
三原市			

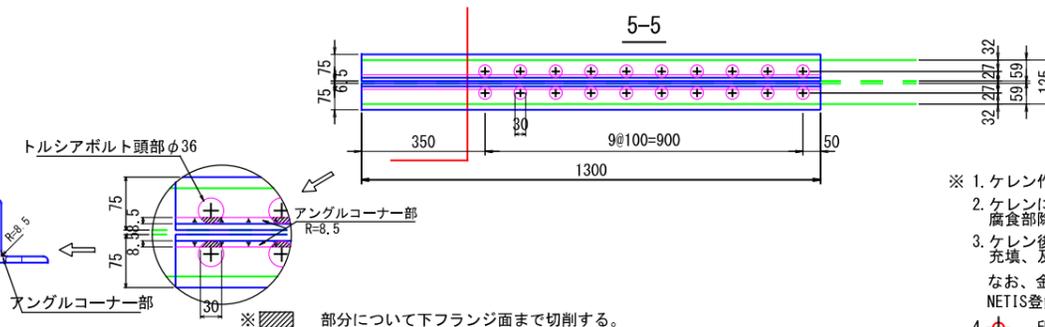
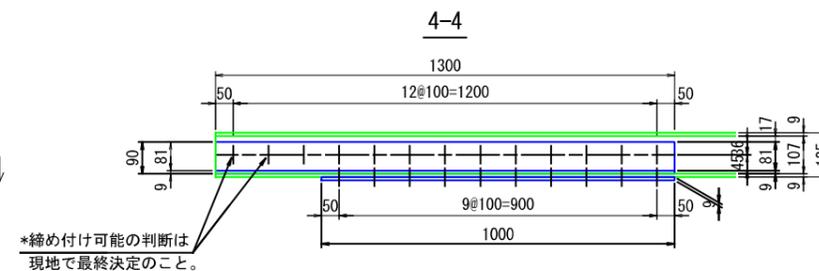
損傷状況



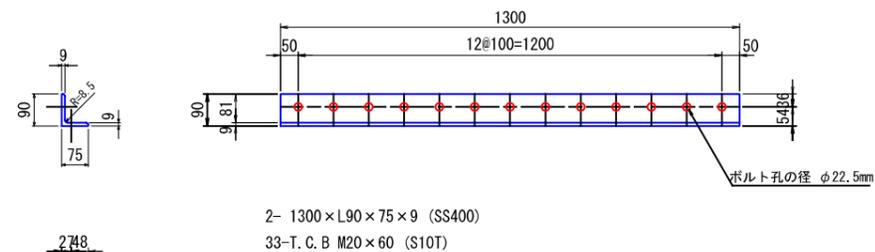
あて板 補修図



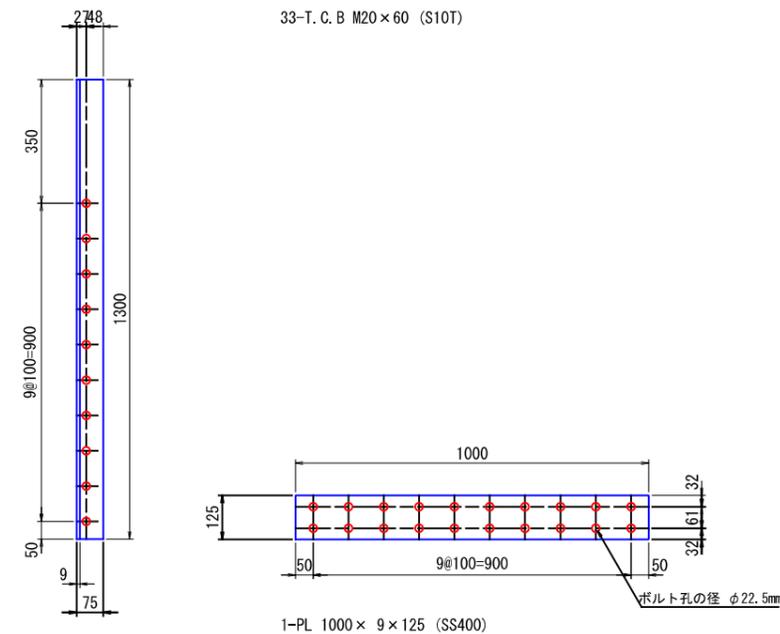
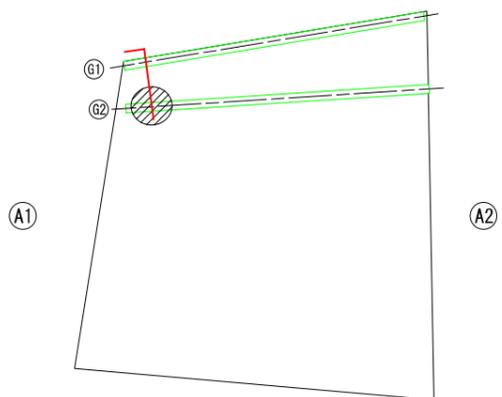
あて板 詳細図



- ※ 1. ケレン作業後、再度あて板範囲等の確認を行うこと。
- 2. ケレンにあたり、既設H鋼のウェブと下フランジコーナーRは、腐食部除去と合わせて研削除去する。(補修用型钢の設置範囲)
- 3. ケレン後、腐食凹凸部、腐食孔食部は金属パテにより充填、及び形状復元を行う。
なお、金属パテの工法はラスタップ(E)1110(セラミック金属補修特殊パテ) NETIS登録<2012年4月>KT-120003と同等以上とする。
- 4. 印は、トルシア形高力ボルトM20を示し、孔径は既設、新設部材ともにφ22.5とする。



位置図



参 考 资 料

— 桥梁补修工事(市道八坂町3号线1号桥梁) —

総括情報表

変更回数 適用単価地区 単価適用日 諸経費体系	0 59 三原市 00-07.07.01(0) 1 公共(一般)	凡例 Co ……コンクリート As ……アスファルト DT ……ダンプトラック BH ……バックホウ CC ……クローラクレーン TC ……トラッククレーン RTC…ラフテレーンクレーン
	当世代 41 橋梁保全工事 00 補正なし 00 補正なし 00 補正なし 00 補正なし 00 補正なし 00 補正なし 00 補正なし 00 通常工事 0% 00 補正無し 01 金銭的保証(0.04%)	前世代
建設技能労働者や交通誘導員等の現場労働者にかかる経費として、労務費のほか各種経費（法定福利費の事業者負担額，労務管理費，安全訓練等に要する費用等）が必要であり，本積算ではこれらを現場管理費等の一部として率計上している。		

本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
本工事費					X1000
橋梁保全工事					Y1G03 レベル1
橋梁補修工	1	式			Y1G0324 レベル2
あて板補修工	1	式			Y1G032403 レベル3
金属特殊パテ	1	式			Y1G03240301 レベル4
金属特殊パテ	1	式			V1001 00
あて板補修	1	式			単第0 -0001 表 Y1G03240301 レベル4
不等辺山形鋼SS400 L-90×75×9	49	kg			F0000000001 00
鋼板SS400 t=9mm	37	kg			F0000000002 00
	12	kg			

本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
トルシアボルト M20*60					F000000003 00
	45	本			
鋼材加工費					F000000004 00
	1	式			
芯出し調整工（鋼材面用）					F000000005 00
	1	式			
鋼桁孔明工					F000000006 00
	1	式			
補強部材取付工					F000000007 00
	1	式			
足場 【安全ネット無】					Y1G03240302レベル4
	18	m2			
足場工(床版補強工) 桁高1.5m未満					S3030011 00
	18	m2			単第0 -0002 表
足場工（朝顔）（床版補強工） 両側朝顔					S3030013 00
	18	m 2			単第0 -0003 表
防護工（床版補強工） シート張防護工 両側朝顔					S3030015 00
	18	m 2			単第0 -0004 表

本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
剥離剤工用養生シート工費					F4000000001 00
現場塗装工	1	式			Y1G0325 レベル2
橋梁塗膜除去工	1	式			Y1G032501 レベル3
塗膜除去	1	式			Y4999 レベル4
塗膜除去費	46	m2			V2001 00
塗膜除去 廃材の収集・運搬	46	m2			単第0 -0005 表
塗膜除去 廃材の収集・運搬	1	車			F2000000004 00
【直接工事費に含まれる処分費等】 「処分費等」の取扱いによる					#0041
塗膜除去 廃材の処分費	1	式			F2000000005 00
橋梁塗装工	1	式			Y1G032501 レベル3
	1	式			

本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
素地調整 【2種ケレン】	46	m2			Y1G03250101レベル4
素地調整2種ケレン	46	m2			V3001 00 単第0 -0006 表
下塗り塗装(1回目) 【無溶剤型さび安定化塗料,塗装回数:1】	46	m2			Y1G03250102レベル4
下塗り塗装	46	m2			V3002 00 単第0 -0007 表
下塗り塗装(2回目) 【無溶剤型さび安定化塗料,塗装回数:1】	46	m2			Y1G03250102レベル4
下塗り塗装	46	m2			V3002 00 単第0 -0007 表
上塗り塗装(1回目) 【無機系塗料,塗装回数:1】	46	m2			Y1G03250104レベル4
上塗り塗装	46	m2			V3003 00 単第0 -0008 表
上塗り塗装(2回目) 【無機系塗料,塗装回数:1】	46	m2			Y1G03250104レベル4

本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
上塗り塗装					V3003 00
	46	m2			単第0 -0008 表
** 直接工事費 ** #0020計=支給品等(材料),無償貸付					
準備費					Z0005
準備費					YZZ05 レベル2
	1	式			
準備費					YZZ05001 レベル3
	1	式			
近接調査計測工					Y4999 レベル4
	1	式			
近接調査計測工					F5000000001 00
	1	式			
技術管理費					Z0006
技術管理費					YZZ06 レベル2
	1	式			

本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
技術管理費	1	式			YZZ06001 レベル3
塗膜溶出試験	1	式			F5000000002 00
安全費	1	式			Z0009
安全費	1	式			YZZ09 レベル2
安全費	1	式			YZZ09001 レベル3
塗装作業安全対策費	1	式			F5000000003 00
共通仮設費率分	1	式			Z0019
計算情報..... 対象額..... 率.....					
** 共通仮設費計 **					

本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
** 純工事費 **					
現場管理費 計算情報..... 対象額..... 率.....					
** 工事原価 **					
一般管理费率分 計算情報..... 対象額..... 率.....					前払補正率...
契約保証費 計算情報..... 対象額..... 率.....					当初請対額 当初対象額
一般管理費計					
** 工事価格 **					
** 消費税相当額 ** 計算情報..... 対象額..... 率.....					
** 工事費計 **					

施工単価表

塗膜除去費

V2001

単第0 -0005 表

頁0 -0014

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
塗膜剥離剤	32	kg			
橋りょう世話役	1.7	人			
橋りょう塗装工	5.09	人			
普通作業員	1.65	人			
塗膜剥離雑材消耗品費	1	式			
*** 合計 ***	46	m2			
*** 単位当たり ***	1	m2			

46

m2 当り

施工単価表

下塗り塗装

V3002

単第0 -0007 表

頁0 -0016

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
下塗り塗装材料 無溶剤型さび安定化塗料	6	kg			
橋りょう世話役	0.51	人			
橋りょう塗装工	1.54	人			
塗装雑工具損料	1	式			
塗装雑材消耗品費	1	式			
*** 合計 ***	46	m2			
*** 単位当たり ***	1	m2			

46 m2 当り

施工単価表

上塗り塗装

V3003

単第0 -0008 表

頁0 -0017

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
上塗り塗装材料 無機系塗料	7.5	kg			
橋りょう世話役	0.51	人			
橋りょう塗装工	1.54	人			
塗装雑工具損料	1	式			
塗装雑材消耗品費	1	式			
*** 合計 ***	46	m2			
*** 単位当たり ***	1	m2			

46

m2

当り

数量計算書

補修橋補修数量計算 八坂町3号線1号橋梁

S 1 補修数量総括表

工種	種別	細別	規格	単位		鋼桁	鋼床版	デッキ プレート	G1桁	G2桁	合計	
あて板補修工	金属パテ	セラミック金属補修特殊パテ材		体積	m ³	—	—	—	0.000042	0.000353	0.000395	
	あて板プレート	L90*75*9	SS400	重量	kg	—	—	—	8.80	28.60	37.40	
	あて板プレート	PL	SS400	重量	kg	—	—	—	3.53	8.83	12.36	
	ボルト	T. C. B	S10T	M20×60		本	—	—	—	12	33	45
					重量	kg	—	—	—	4.40	12.11	16.51
	孔あけ	母材		φ22.5		ヶ所	—	—	—	12	33	45
維持塗装工	さび安定化 防錆塗料	素地調整	剥離剤工法	面積	m ²	30.89	5.91	9.03	—	—	45.83	
			2種ケレン	面積	m ²	30.89	5.91	9.03	—	—	45.83	
		下塗りNE-100E 無溶剤型さび安定化塗料	80g/m ²	面積	m ²	30.89	5.91	9.03	—	—	45.83	
		下塗りNE-100E 無溶剤型さび安定化塗料	80g/m ²	面積	m ²	30.89	5.91	9.03	—	—	45.83	
		上塗りシーコート007M 無機系塗料	100g/m ²	面積	m ²	30.89	5.91	9.03	—	—	45.83	
		上塗りシーコート007M 無機系塗料	100g/m ²	面積	m ²	30.89	5.91	9.03	—	—	45.83	
		剥離剤処分			重量	kg						45.8
		仮設工	吊足場	桁高 h<1.5m	板張り防護 シート張り防護	面積	m ²	—	—	—	—	—

§ 2. あて板補修工

2-1. G1,G2桁

2-1-1. (G1桁 A1橋台側)

(1) 金属パテ

・ H 125x125 6.5/9

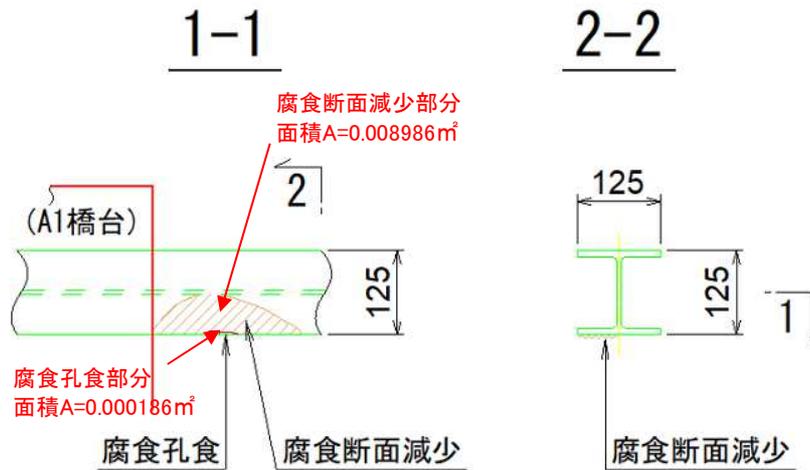
a. 主桁 腐食部分 断面減少部分

下 FLG $v1 = 0.008986 \text{ m}^2 * \text{CAD計測による} \times 0.0090 \times 0.5 \text{ ※板厚の50\%} = 0.000040 \text{ m}^3$

b. 主桁 孔食欠損 部分

下 FLG $v2 = 0.000186 \text{ m}^2 * \text{CAD計測による} \times 0.0090 = 0.000002 \text{ m}^3$

$\Sigma V = 0.000042 \text{ m}^3$



(2) あて板不等辺山形鋼 重量 単位重量= 11.00 kg/m

・ 2-L 90×75×9 (SS400) L= 0.40 m

$w1 = 0.4 * 11 * 2 = 8.80 \text{ kg}$

・ 1-PL 400×9×125 (SM400) 単位重量= 7.85 kg/m³

$w3 = 0.400 \times 0.009 \times 0.125 \times 7.85 \times 1 \times 1000 = 3.53 \text{ kg}$
 $\Sigma W = 12.33 \text{ kg}$

(3) ボルト

a. 本数

・ T.C.B M20×60 (S10T)

$n1 = 12 \times 1 \text{ ヶ所} = 12 \text{ 本}$

b. 重量 (セット重量)

・ T.C.B M20×60 (S10T)

$w1 = 0.367 \times 12 = 4.40 \text{ kg}$

(4) 孔あけ $\phi = 22.5$ mm
 LFLG n1= 8 × 1
 WEB n2= 4 × 1

= 8 ヶ所
 = 4 〃

 $\Sigma N = 12$ ヶ所

2-1-2. (G2桁 A1橋台側)

(1) 金属パテ

・ H 125x125 6.5/9

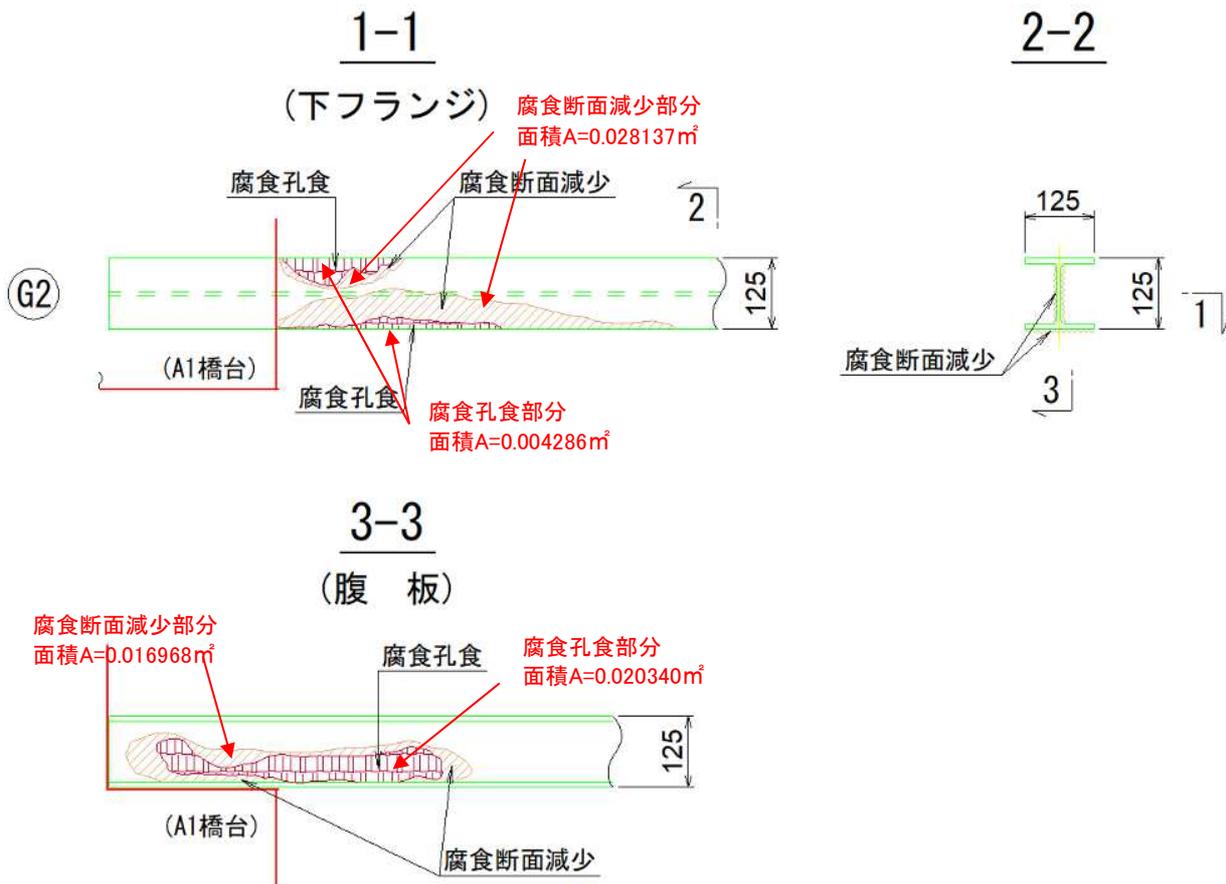
a. 主桁 腐食部分 断面減少部分

下 FLG v1= 0.028137 m² * CAD計測による × 0.0090 × 0.5 ※板厚の50% = 0.000127 m³
 WEB v2= 0.016968 m² * CAD計測による × 0.0065 × 0.5 ※板厚の50% = 0.000055 〃

b. 主桁 孔食欠損 部分

下 FLG v3= 0.004286 m² * CAD計測による × 0.0090 = 0.000039 m³
 WEB v4= 0.020340 m² * CAD計測による × 0.0065 = 0.000132 m³

 $\Sigma V = 0.000353$ m³



(2) あて板不等辺山形鋼 重量 単位重量= 11.00 kg/m

・ 2-L 90×75×9 (SS400) L= 1.30 m

$$w1 = 1.3 * 11 * 2 = 28.60 \text{ kg}$$

・ 1-PL 1000×9×125 (SM400) 単位重量= 7.85 kg/m³

$$w3 = 1.000 \times 0.009 \times 0.125 \times 7.85 \times 1 \times 1000 = 8.83 \text{ ''}$$

$$\Sigma W = 37.43 \text{ kg}$$

(3) ボルト

a. 本数

・ T.C.B M20×60 (S10T)

$$n1 = 33 \times 1 \text{ ヲ所} = 33 \text{ 本}$$

b. 重量 (セット重量)

・ T.C.B M20×60 (S10T)

$$w1 = 0.367 \times 33 = 12.11 \text{ kg}$$

(4) 孔あけ $\phi = 22.5 \text{ mm}$

LFLG $n1 = 20 \times 1 = 20 \text{ ヲ所}$

WEB $n2 = 13 \times 1 = 13 \text{ ''}$

$$\Sigma N = 33 \text{ ヲ所}$$

2-2. あて板補修工 集計表

区分	種別	材質	寸法	単位	数量		合計	摘要
					G1桁	G2桁		
金属パテ				m ³	0.000042	0.000353	0.000395	
あて板プレート	形鋼	SS400	L90*75*9	kg	8.80	28.60	37.40	
あて板プレート	PL	SS400	t=9mm	kg	3.53	8.83	12.36	
ボルト	T.C.B	S10T	M20×60	本	12	33	45	
	''	''	M20×60	kg	4.40	12.11	16.51	セット重量
孔あけ	母材		$\phi 22.5$	ヶ所	12	33	45	

§ 3. 維持塗装工

3-1. 維持塗装工（鋼桁、鋼板、デッキプレート）

(1) 鋼桁

箇所	形状	計算式			Net	面数	個数	面積(m ²)	備考
		塗装面積 (m ² /kg)	× 単位重量 (kg/m)	× 長さ (m)					
H-125x125	H	0.0307	× 23.6	× 4.300		1	2	6.23	G1, G2桁
天端 除外		H125-	0.125	× 4.300		1	2	-1.08	
L75x75	L	0.0292	× 9.96	× 0.590		1	1	0.17	G1, G2桁 間
天端 除外		L75-	0.075	× 0.590		1	1	-0.04	
L75x75	L	0.0292	× 9.96	× 0.660		1	1	0.19	G1, G2桁 間
天端 除外		L75-	0.075	× 0.660		1	1	-0.05	
L75x75	L	0.0292	× 9.96	× 0.740		1	1	0.22	G1, G2桁 間
天端 除外		L75-	0.075	× 0.740		1	1	-0.06	
L75x75	L	0.0292	× 9.96	× 0.870		1	1	0.25	G1, G2桁 間
天端 除外		L75-	0.075	× 0.870		1	1	-0.07	
L75x75	L	0.0292	× 9.96	× 0.910		1	1	0.26	G1, G2桁 間
天端 除外		L75-	0.075	× 0.910		1	1	-0.07	
L75x75	L	0.0292	× 9.96	× 1.020		1	1	0.30	G1, G2桁 間
天端 除外		L75-	0.075	× 1.020		1	1	-0.08	
H-350x175	H	0.0276	× 49.4	× 3.900		1	1	5.32	G3桁
天端 除外		H350-	0.175	× 3.900		1	1	-0.68	
H-350x175	H	0.0276	× 49.4	× 5.000		1	1	6.82	G4桁
天端 除外		H350-	0.175	× 5.000		1	1	-0.88	
H-350x175	H	0.0276	× 49.4	× 5.500		1	1	7.50	G5桁
天端 除外		H350-	0.175	× 5.500		1	1	-0.96	
H-250x175	H	0.0264	× 43.6	× 1.930		1	4	8.89	G4, G5桁 間
天端 除外		H250-	0.175	× 1.930		1	4	-1.35	
片側側面 除外		H250-	0.250	× 1.930		1	2	-0.97	端横桁背面
H-250x175	H	0.0264	× 43.6	× 1.150		1	1	1.32	A1橋台 下流側
片側側面 除外		H250-	0.250	× 1.150		1	1	-0.29	
小 計						Σ	=	30.89	m ²

(2) 鋼床版

・上流側

	a1=	*CAD計測による	=	13.20	m ²
G1, 2天端	a2=	0.125 × 4.300 × 2	=	-1.08	''
石桁①	a3=	0.400 × 3.850 × 1	=	-1.54	''
G3天端	a4=	0.175 × 3.900 × 1	=	-0.68	''
石桁②	a5=	0.350 × 3.850 × 1	=	-1.35	''
石桁③	a6=	0.400 × 3.850 × 1	=	-1.54	''
G4天端	a7=	0.175 × 0.5 × 5.000 × 1	=	-0.44	''
				Σ A =	6.57 m ²

端部等の狭隘部、石桁間等の塗膜作業不可部を考慮し、Net90%とする。

$$\Sigma A = 0.9 \times 6.57 = 5.91 \text{ m}^2$$

(3) デッキプレート

・□-1.95x4.33 波板と平板の比率 q = 0.86/0.614 = 1.401

	a1=	1.950 × 4.330 × 1.401	=	11.829	m ²
主桁上面控除	a2=	0.175 × 4.330 × 1.401	=	-1.062	''
横桁上面控除	a3=	(1.950 - 0.175) × 0.175 × 4 × 1.401	=	-1.741	''
				Σ A =	9.03 m ²

3-2. 維持塗装工集計表：さび安定化防錆塗料

(剥離剤工法+2種ケレン)

仕 様	単 位	鋼 桁	鋼 板	デッキプレート	合 計
素地調整 (剥離剤工法+1種ケレン)	m ²	30.89	5.91	9.03	45.83
無溶剤型さび安定化塗料(80g/m ²)	m ²	30.89	5.91	9.03	45.83
無溶剤型さび安定化塗料(80g/m ²)	m ²	30.89	5.91	9.03	45.83
無機系塗料上塗り(100g/m ²)	m ²	30.89	5.91	9.03	45.83
無機系塗料上塗り(100g/m ²)	m ²	30.89	5.91	9.03	45.83

剥離剤処分量(1kg/m²)

$$45.833 \times 1.0 = 45.8\text{kg}$$

§ 4. 仮設工数量計算

4-1. 吊足場 桁高 $h < 1.5\text{m}$ (板張り防護、シート張り防護)

(1) 上部工 維持塗装吊足場

a1= 18.300 CAD計測より

= 18.30 掛 m^2

$\Sigma A = 18.30$ 掛 m^2

(2) 仮設工数集計表

吊足場	単位	合計
桁高 $h < 1.5\text{m}$	掛 m^2	18.30

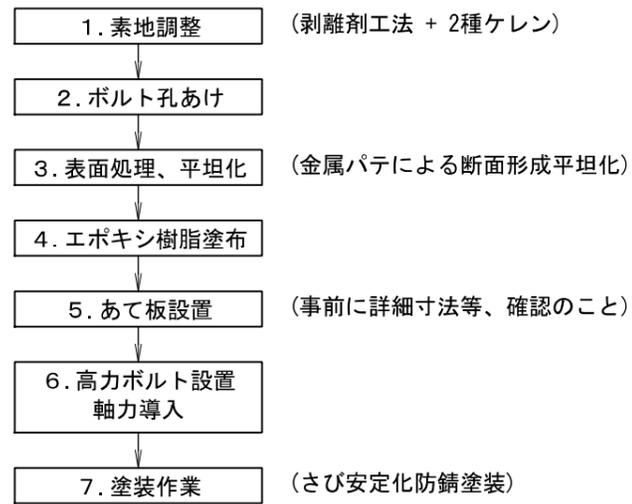
八坂町3号線1号橋梁 補修要領図（参考図）

図面番号	1/2	縮尺	—
工程	橋梁補修工事（市道八坂町3号線1号橋梁）		
種別	補修要領図（参考図）	番号	1/1
路線 河川名	市道八坂町3号線		
工事箇所	三原市八坂町		
三原市			

あて板補修工

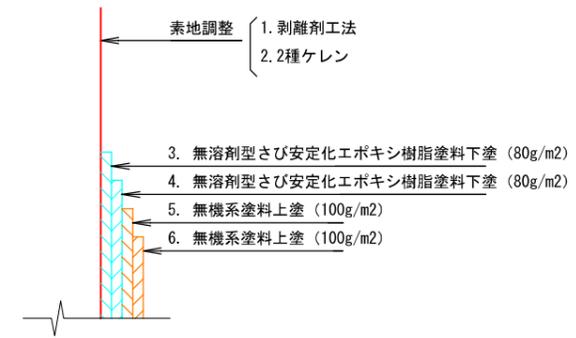
維持塗装工

あて板補修工 フローチャート

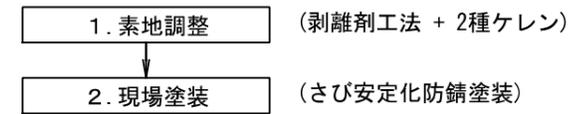


※) ・剥離剤工法の最終決定、使用工法、使用料、回数も含め、
事前の塗膜試験結果や、試験施工により、決定のこと。

塗替え塗装仕様
さび安定化防錆塗装（塗膜剥離剤+2種ケレン）



維持塗装工 フローチャート



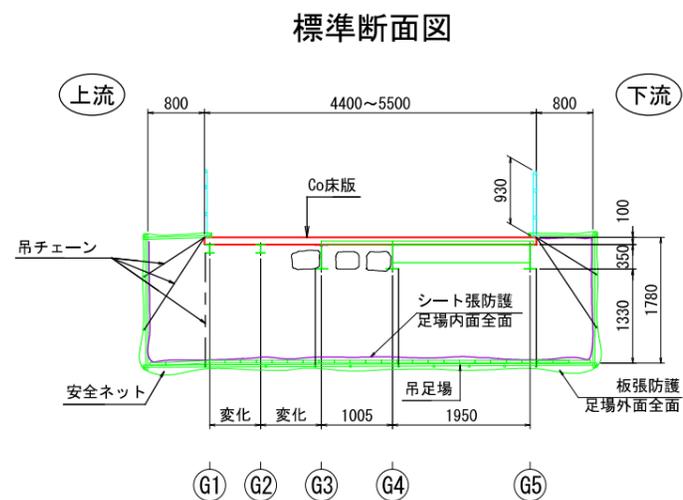
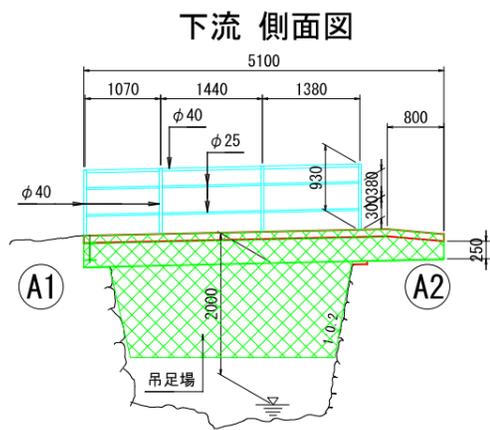
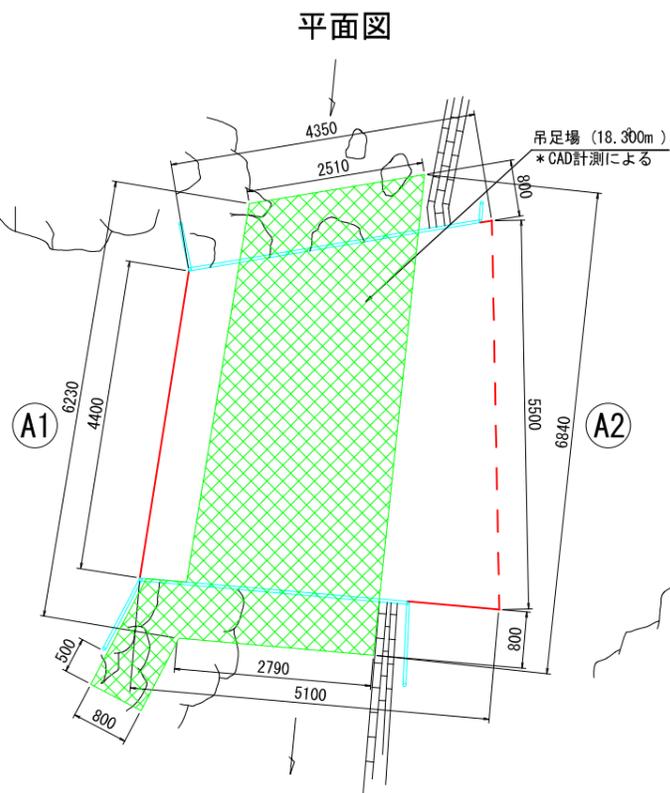
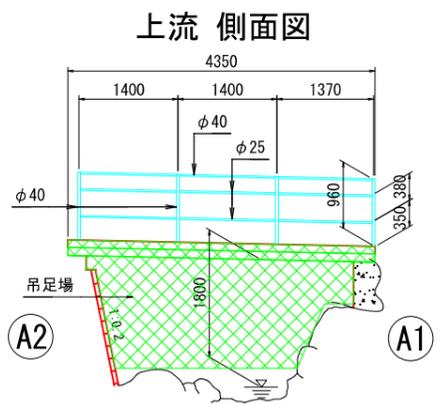
※) ・剥離剤工法の最終決定、使用工法、使用料、回数も含め、
事前の塗膜試験結果や、試験施工により、決定のこと。

無溶剤型塗装系（スプレー）

塗装工程	塗料名	使用量 (g/m ²)	塗装間隔
剥離剤	湿式塗膜剥離剤	530	
素地調整	2種ケレン	—	4時間以内
下塗り	無溶剤型さび安定化塗料	80	12時間以上
下塗り	無溶剤型さび安定化塗料	80	12hr~7日
上塗り	無機系塗料	100	4時間以上
上塗り	無機系塗料	100	4時間以上

図面番号	2/2	縮尺	図示
工程	橋梁補修工事(市道八坂町3号線1号橋梁)		
種別	足場計画参考図	番号	1/1
路線名	市道八坂町3号線		
工事箇所	三原市八坂町		
三原市			

八坂町3号線1号橋梁 仮設足場計画(参考図) S=1:50



吊足場

注) 本図面は、既往図面を基にテープやコンベックスを用いて現地調査を行い、作成したものである。

位置図



国土地理院地図引用